

教員についての基本情報



教員名	上地 完治 (UECHI Kanji)
担当教科と分野	教育学（教育哲学）、道徳教育
研究分野	道徳授業論、学校論、批判的教育学
担当授業	教育原理、道徳教育の理論と実践、学校教育リフレクション、道徳授業研究、子どもの世界学びの世界（分担）、教職実践演習、小学校教育研究法Ⅰ・Ⅱ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ
授業についての一言	誰もが当たり前のように語っている「教育」という営みについて、「それが一体何なのか」一度立ち止まってじっくり考えてみませんか。たとえば、子どもたちは「嘘をついてはいけない」ということをすでに知っています。それなのに、道徳の授業は子どもたちに一体何を学ばせるのでしょうか？
研究室ホームページ	

研究の内容

道徳教育の領域では、道徳授業における子どもたちの深い学びと対話（話し合い）、道徳的正しさといった観点から道徳授業論を理論的・実践的に考えています。学校現場の先生方と教材分析や研究授業もおこなっていて、通常は毎週金曜日に学生たちと附属小学校で道徳授業を見学させていただき、その後授業者と授業リフレクションをおこなっています。

教育哲学の領域では、1980～90年代にアメリカで展開された批判的教育学や、ポストモダン論、学校論などに興味があります。

研究のキーワード

道徳授業における学び、対話（話し合い）、道徳的正しさ、討議倫理学、学校論、批判的教育学

これまでに研究室で取り組まれた卒業研究の内容

- ・ 校則の問題性に関する研究
- ・ ホームエデュケーションに関する研究—不登校児の教育機会の保障のために—
- ・ 日本の公教育において信教の自由をいかに取り扱うか
- ・ 日本の学校教育におけるジェンダー問題
- ・ 学級集団づくりに関する研究—宮坂哲文の生活指導論を中心に—
- ・ いかにして道徳的に正しい判断ができるのか

研究室の様子

ゼミでは、3年生と4年生が一緒になって、それぞれの卒業研究のテーマに即して発表とディスカッションをおこなっています。自分の関心に即して文献を探して読み探究する力、理解したことを基に自分の考えをまとめ、それを他者が理解しやすいように伝える力、そして、それを聞いて発表内容をめぐってディスカッションする力をみんなで楽しく鍛えています。ゼミ生の関心が多岐にわたっているので、いろいろなテーマの発表を耳で聞いていると、知らないうちにそのテーマについて少し詳しくなっています。